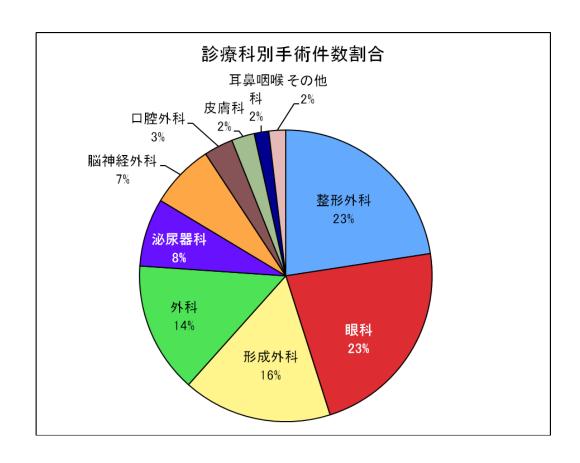
< 平成23年 診療実績 >

Ⅱ 診療実績



1. 内科

特任副院長・内科部長 阿部 正宏

Common disease において Evidence Based Medicine が中心となって 10 年以上が経過しました。自分の経験では・・・という医師の独りよがりの治療が減少したことは、多数の患者さんに利益をもたらしたことと思われます。当科の治療方針も EBM に基づいた標準治療を重視し、平成 23 年も例年並みの診療実績をあげることができました。一方で最近は過去のエビデンスを覆すような報告も散見されます。例えば高血圧の治療において、存在しないとされていた J curve が脳卒中の二次予防においては存在するというように。我々も情報を常に update して、より患者さんに有益な医療を提供していけるよう今後も努力していきたいと思います。

(件)

疾病・術式・検査名 H23 年 消化器内科系 C型肝炎-肝硬変に対するインターフェロン療法 43 内視鏡的食道静脈瘤結紮術 1 9 腹部血管造影 肝動脈塞栓術(動注化学療法を含む) 9 血液内科系 悪性リンパ腫 52 骨髓異型性症候群 26 多発性骨髄腫 18 急性骨髓性白血病 13 慢性骨髓性白血病 6 血小板減少性紫斑病 3 特発性血小板減少性紫斑病 9 再生不良性貧血 10

| 疾病・術式・検査 | (件) |
|----------------|-----|
| 透析センター | |
| 新規血液透析導入患者数 | 9 |
| 糖尿病性腎症 | 6 |
| 慢性糸球体腎炎 | 3 |
| 転入血液透析患者数 | 4 |
| 腎移植施行患者数 | 1 |
| 内シャント設置術施行 | 15 |
| 自己血管による AVF | 14 |
| 上腕動脈表在化 | 1 |
| 内シャント造影・PTA 施行 | 1 |
| 経皮的腎針生検 | 1 |
| 代謝・内分泌系 | |
| 糖尿病教育入院 | 40 |
| 循環器内科系 | |
| 心臓 MRI | 12 |
| 冠動脈 CT | 151 |
| 心臓カテーテル検査 | 200 |
| 経皮的冠動脈形成術 | 141 |
| 経皮的末梢動脈形成術 | 12 |
| 恒久的ペースメーカー植込術 | 14 |
| 急性心筋梗塞 | 43 |
| 不安定狭心症 | 11 |

2. 総合外科・消化器外科

消化器外科部長 曽我 直弘

上昨年12月4日に、当病院で長きにわたり、地域医療に貢献し、病院を牽引していた、副院長外科部長である村瀬先生が逝去されました。復帰を願い、待っていた外科のチームにとっては大きな痛手となりました。さらに大震災の影響下では、手術件数をセーブせざるを得ない状況もあり、手術件数はやや減少しました。しかしながら、内視鏡的治療なども積極的に行い、外科医の人数を考えれば忙しい中、縫合不全、再手術などの周術期の問題は発生せず仕事をこなしたと考えます。藤田先生、山口先生の負担も大きかったと思います。

本年4月より、総合外科部長として玄先生が赴任されました。2年間活躍した 山口先生も鬼頭先生と交代となりました。さらに安全でクオリティの高い外科 診療を目指していきたいと思います。

| | (件) |
|-------------------------|-------|
| 疾病・術式・検査名 | H23 年 |
| 胃、十二指腸 | *38 |
| 胃癌 幽門側胃切除 噴門側胃切除 | 10 |
| 胃癌 胃全摘 | 5 |
| 胃癌 胃腺腫 内視鏡的粘膜下層剥離術 | 12 |
| 胃粘膜下腫瘍 胃部分切除術 | 1 |
| 十二指腸カルチノイド 幽門側胃切除 | 1 |
| 十二指腸潰瘍出血 胃切除 | 1 |
| 開腹胃ろう造設術 | 2 |
| 幽門狭窄 胃空腸吻合術 | 6 |
| | |
| 小腸 | *14 |
| 癒着性イレウス 小腸切除を伴うイレウス手術 | 2 |
| 癒着性イレウス 小腸切除を伴わないイレウス手術 | 1 |
| 癒着性イレウス 回盲部切除を伴うイレウス手術 | 1 |
| 結核性腹膜炎術後小腸人工肛門 人工肛門閉鎖術 | 1 |
| 小腸穿孔 小腸部分切除 | 2 |
| クローン病 腹腔鏡補助下小腸部分切除 | 1 |
| 非閉塞性腸管虚血症 | 3 |
| 外傷性小腸腸間膜損傷 小腸部分切除術 | 1 |
| 胆石イレウス 小腸切開異物除去 | 1 |
| 乳癌術後癌性腹膜炎 バイパス手術 | 1 |
| | |

静脈麻酔

計

合

12

247

3. 小児科

小児科部長 恩田 真弓

昨年より、施行できる予防接種の種類が増えました。

親御さんの関心も高く、ヒブ、肺炎球菌ワクチンの接種率は高いです。

水痘、おたふく風邪の予防接種をなさる方がまだまだまだ少なく、時におた ふく風邪は髄膜炎を合併することがあり、有効な薬もないことから接種を勧め ています。

平成 24 年春先は例年になくロタウイルスによる胃腸炎が流行しました。ロタウイルスの胃腸炎は重症化しやすいため、服用していただきたいと思っています。

| 予防接種 | H23 年 |
|-----------------------|--------|
| BCG | 28 |
| B型肝炎 | 13 |
| アクトヒブ R(インフルエンザ桿菌) | 323 |
| ムンプス (流行性耳下腺炎:おたふく風邪) | 66 |
| 水痘(水ぼうそう) | 71 |
| MR(麻疹、風疹) | 300 |
| インフルエンザ | 994 |
| 二種混合 | 4 |
| 三種混合 | 389 |
| 日本脳炎 | 574 |
| 子宮頸がん | 184 |
| 肺炎球菌 | 452 |
| <u></u> 合 | 3, 398 |
| 乳児健診 | 121 |

4. 内視鏡科

(件) 術式·検査名 H23 年 内視鏡 上部消化管(人間ドックを含む) 3, 211 内視鏡 下部消化管(人間ドックを含む) 829 膵胆管造影(内視鏡的十二指腸乳頭切開術を含む) 内視鏡 38 経皮的内視鏡的胃瘻造設術 26 計 合 4, 104

5. 脳神経外科

副院長·脳神経外科部長 竹下 幹彦

当院の脳神経外科は、頭部外傷、くも膜下出血や脳内出血、脳梗塞などの脳血管障害や脳腫瘍の診断・治療を行っております。脳内血腫に対し血腫除去術を、破裂動脈瘤に対し開頭によるクリッピング術や東京女子医科大学脳神経外科血管内治療グループと共に血管内治療(コイル充填術)も行っております。未破裂脳動脈瘤で手術適応のある方には同様の治療も行っております。また、発症3時間以内の脳梗塞患者さんには、t-PAによる積極的な治療およびその後の脳梗塞に対する治療と共に、適応のある患者さんには脳主幹動脈閉塞による脳梗塞に対する治療と共に、適応のある患者さんには脳主幹動脈閉塞による脳梗塞急性期患者の血管内治療(血栓溶解術)も行っております。脳卒中後等の片麻痺や失語症に対するリハビリテーションを行う共に、茨城県南地域脳卒中連携パスの運用も行っております。

(件)

| 8 |
|--------|
| 8 |
| 8 |
| |
| |
| 1(*2) |
| 6 |
| 2 (*2) |
| 9 |
| |
| 4 |
| 6 |
| 41 |
| |
| 8 |
| 1 |
| 24 |
| 120 |
| |

(*血管内手術)

6. 整形外科

副院長・整形外科部長 梅原 新英

_相変わらず常勤医 3 名の医師不足のもとで、2011 年は 399 件の手術を行いました。2012 年も常勤が増える見込みは無く、一人一人が過重な負担を背負いながらも安全かつ質の高い医療を目指すことになります。

今後も骨折など外傷に対する手術が主体となりますが、これまで力を入れてきた『股関節外科』、『脊椎外科』、『スポーツ整形外科(膝関節など)』に今年は庄野医師の担当する『足の外科』が加わり、より幅広い分野に対応していきたいと思います。

| | (11) |
|--------------------------|-------|
| 術式・検査名 | H23 年 |
| 四肢·骨盤骨折 骨折観血的手術 | 149 |
| 四肢·骨盤骨折 関節内骨折観血的手術 | 4 |
| 四肢・骨盤骨折 人工骨頭挿入術 | 26 |
| 偽関節手術 | 7 |
| 変形治癒骨折 矯正手術 | 1 |
| 関節脱臼観血的整復術 | 4 |
| 関節脱臼非観血的整復術 | 5 |
| 関節拘縮 観血的関節授動術 | 1 |
| 骨折手術後など 骨内異物除去術 | 44 |
| 開放骨折・挫創など デブリードマン、縫合 | 4 |
| 異物除去術 | 4 |
| 膝前十字靭帯損傷 靭帯形成術 (関節鏡視下) | 6 |
| 膝半月板損傷 半月板切除術・縫合術(関節鏡視下) | 12 |
| 膝関節炎など 滑膜切除術 | 2 |
| 腱断裂 腱縫合術 | 2 |
| 皮膚欠損 皮弁形成術 | 2 |
| 変形性股関節症 人工股関節置換術 | 24 |
| 変形性股関節症 寛骨臼回転骨切り術 | 2 |
| 大腿骨頭壞死症 人工股関節置換術 | 2 |
| 人工股関節感染 人工関節抜去術 | 1 |
| 変形性膝関節症 人工膝関節置換術 | 5 |
| リウマチ性足部変形 関節固定術 | 2 |
| 外反母趾 矯正術 | 3 |
| | |

7. 形成外科

形成外科部長 高橋 元

形成外科一般を対象。創傷治癒の観点で傷をきれいにする事を心がけている。 特殊外来(要予約)としての「アンチエイジング(坑加齢)・美容医療センター 外来」(火曜日)のなかでは、レーザーによる脱毛、皮膚色素性病変、小腫瘍の 除去も行っている。 「耳介矯正外来(形状記憶合金装具による矯正)」(火曜 日)、「爪矯正外来」(木曜日)とも要予約。

(件) 術式 • 検査名 H23 年 外傷 27 先天異常 8 母斑、血管腫、良性腫瘍 172 炎症変性 30 瘢痕、瘢痕拘縮、ケロイド 2 褥瘡、難治性潰瘍 31 美容外科 9 合 計 279

8. 泌尿器科

特任副院長 · 泌尿器科部長 松木 克之

当科は尿路(腎臓・尿管・膀胱・尿道)と男性性器(前立腺・精嚢腺・精管・精巣上体・精巣)副腎等の感染症・外傷・先天性疾患・結石・尿路閉塞疾患・悪性腫瘍を主に対象として診療しております。また平成22年10月よりESWLを再開いたしました。

| 術式・検査名 | H23 年 |
|----------------|-------|
| 腎摘 (根治的) | 7 |
| 腎尿管全摘出 | 4 |
| TUL | 2 |
| 尿管鏡 | 1 |
| 尿管皮膚瘻 | 1 |
| 尿管カテーテル | 1 |
| 尿管ステント留置 | 4 |
| 膀胱摘出 | 2 |
| TUR-Bt | 23 |
| 経尿道膀胱砕石 | 2 |
| 膀胱瘻造設 | 1 |
| TUR-P/HoLEP | 17//0 |
| 前立腺全摘 | 2 |
| 前立腺生検 | 57 |
| 包茎 | 2 |
| 精液瘤 | 1 |
| 陰囊水腫 | 1 |
| 合 計 | 128 |
| | |
| 体外衝撃波 | 32 |

9. 皮膚科

皮膚科 田中 未知

当院皮膚科では、常勤医師 1 名、非常勤医師 3 名で診療を行っています。皮膚科一般を中心として、他に脱毛のレーザー治療、局所麻酔下の小手術、円形脱毛症の SADBE 治療なども行っています。手術は基本的に中央手術室で行います。

(件)術式・検査名H23 年レーザー脱毛19手術42

10. 眼科

眼科医長 山本 敏哉

外来にて眼科疾患全般を診ています。筑波大学病院眼科との関連病院として、 よりスムーズな外来に努め、また、専門医修練施設として専門医育成にも力を 注いでいます。

今後も関連病院との連携を強め、地域医療の役に立てるよう精進していきたいと思っています。

| and the state of t | (117 |
|--|------------------------|
| 疾病・術式名 | H23 年 |
| 白内障 超音波乳化吸引術+眼内レンズ挿入術 | 304 |
| 白内障 超音波乳化吸引術+眼内レンズ挿入術+前部硝子体切除術 | 2 |
| 白内障 超音波乳化吸引術+前部硝子体切除術 | 1 |
| 白内障 嚢外摘出術+眼内レンズ挿入術 | 1 |
| 白内障 囊外摘出術+前部硝子体切除術 | 1 |
| 白内障 嚢内摘出術+眼内レンズ逢着術 | 1 |
| 白内障+急性閉塞隅角症 超音波乳化吸引術 | 2 |
| 無水晶体眼 眼内レンズ挿入術 | 1 |
| 無水晶体眼 眼内レンズ縫着術 | 3 |
| 糖尿病網膜症+白内障 | |
| 硝子体切除術+超音波乳化吸引術+眼内レンズ挿入術 | 5 |
| 糖尿病網膜症 硝子体切除術 | 3 |
| 硝子体出血+白内障 硝子体切除術+超音波乳化吸引術+眼内レンズ挿入術 | 1 |
| 硝子体出血 硝子体切除術 | 1 |
| 黄斑上膜+白内障 硝子体切除術+超音波乳化吸引術+眼内レンズ挿入術 | 1 |
| シリコンオイル注入眼 硝子体置換術 | 2 |
| 前房内異物 前房内異物除去 | 1 |
| 眼瞼内反症 | 4 |
| 眼瞼皮膚弛緩症 | 2 |
| 翼状片 | 5 |
| 黄斑浮腫に対するテノン嚢下注射 | 14 |
| 眼瞼良性腫瘍 | 4 |
| 眼窩脂肪ヘルニア | 1 |
| 結膜皮膚弛緩症 | 1 |
| | 361 |
| | ·· · ······ |

11. 歯科・口腔外科

歯科口腔外科医長 山﨑 善純

_当科での対象疾患は、う蝕、欠損歯などを治療する一般歯科治療でなく、おもに口腔外科的疾患〔埋伏智歯、外傷(顎骨骨折、歯牙脱臼、裂傷)、嚢胞、腫瘍(悪性、良性)、顎変形症、顎関節症、口腔粘膜疾患、唾液腺疾患、口腔感染症、口腔乾燥症、味覚障害、摂食嚥下障害などの口腔機能障害等〕の疾患を治療対象としております。ただし、有病者(障害のある方、基礎疾患のある方)と当院入院患者については、一般歯科治療(齲蝕歯、義歯補綴治療など)も、施行しております。基本的に、歯科開業されている先生と患者および対象疾患を競合せず、当科において精査加療が必要と思われる方をご紹介いただき、処置後、速やかに紹介元の先生にお返しする、病診連携をとるように心がけております。

外来の年間の新患数は、平成 21 年の 1,415 人 、22 年 1,598 人、23 年 1,458 人となっており、紹介患者数は平成 21 年の 366 人、22 年 347 人、23 年 345 人となっており、昨年は震災の影響もあり若干減少しております。ご紹介頂いている地域は、牛久市、つくば市、龍ヶ崎市、土浦市、取手市、稲敷郡等、近隣ですが、広範囲にわたっております。

入院症例は 64 例、手術症例は 51 例で昨年より若干減少しておりますが、ほぼ変化はありません。手術症例の内訳は、全身麻酔例が 24 例で、局所麻酔例は 27 例です。手術症例の内訳は、下表のとおりです。入院症例では手術目的のほかに、口腔領域の感染症(下顎・口底頬部蜂窩織炎 8 例)が散見されました。

| 術式・検査名 | H23 年 |
|---------------------|-------|
| 抜歯 | 22 |
| 骨折(上顎・下顎・顔面骨) | 6 |
| 顎骨嚢胞 | 3 |
| インプラント一次手術(人工歯根埋入術) | 2 |
| 顎骨腫瘍(良性) | 2 |
| 歯肉腫瘍(良性) | 1 |
| 舌腫瘍(悪性) | 2 |
| 舌腫瘍(良性) | 3 |
| 頬粘膜(良性) | 1 |
| 骨髄炎・腐骨除去 | 1 |
| 骨折手術後プレート除去 | 4 |
| 頸部リンパ節生検 | 1 |
| 非観血的整復固定 | 2 |
| | |

| 術式・検査名 | (件) |
|----------|-----|
| 唾石症 | 1 |
| 上顎洞根治術 | 1 |
| 蜂窩織炎 | 9 |
| 舌小帯形成 | 1 |
| 剥離性歯肉口内炎 | 1 |
| 顔面打撲 | 1 |
| <u>合</u> | 64 |

12. 耳鼻咽喉科

耳鼻咽喉科医長 伊藤 昭彦

当院耳鼻咽喉科は常勤医 1 名と、曜日によって非常勤医がおり 1~2 診で診察を行っています。めまいや突発性難聴、急性炎症、手術患者の入院治療を行っています。手術は常勤医の不足のため、頭頸部腫瘍などの大きな手術は困難なことが多いですが、扁桃摘出術や副鼻腔炎手術などは行っています。

| 術式・検査名 | H23 年 |
|---------------------|-------|
| 唾石摘出術 (表在性のもの) | 1 |
| 気管切開孔閉鎖術 | 1 |
| 外耳道異物除去術 (単純なもの) | 3 |
| 外耳道異物除去術 (複雑なもの) | 1 |
| 皮膚切開術 | 3 |
| 鼻内異物摘出術 | 4 |
| 気管切開術 | 4 |
| 鼓膜切開術 | 4 |
| 鼓膜(排液、換気)チューブ挿入術 | 8 |
| 咽頭異物摘出術 (簡単なもの) | 11 |
| 鼻腔粘膜焼灼術 | 29 |
| 顎下腺腫瘍摘出術 | 2 |
| 顎下腺摘出術 | 1 |
| 口蓋扁桃手術(摘出) | 11 |
| 耳下腺腫瘍摘出術 (耳下腺浅葉摘出術) | 1 |
| 術後性上顎嚢胞摘出術 | 1 |
| 上顎洞篩骨洞根治手術 | 3 |
| 舌腫瘍摘出手術(粘液囊胞摘出術) | 1 |
| 汎副鼻腔根治手術 | 2 |
| 皮膚腫瘍摘出術(露出部) | 1 |
| 鼻中隔矯正術 | 1 |
| 頸部郭清術 | 1 |
| | 94 |

13. 麻酔科

麻酔科医長 板倉 美千代

| 外科 209 整形外科 187 口腔外科 24 脳外科 60 泌尿器科 16 形成外科 49 内分泌科 6 静脈麻酔症例 泌尿器科 4 形成外科 1 整形外科 13 外科 2 脊髓夕モ膜下硬膜外併用麻酔症例 外科 1 整形外科 1 硬膜外麻酔症例 1 壓形外科 1 佐達麻酔症例 1 形成外科 1 整形外科 1 | 術式・検査名 | H23 年 |
|---|------------------------|-------|
| 整形外科 24 脳外科 60 泌尿器科 16 形成外科 49 耳鼻咽喉科 19 内分泌科 60 静脈麻酔症例 3 診尿器科 4 脊髄クモ膜下麻酔症例 3 シジス器科 51 形成外科 1 整形外科 13 外科 2 脊髄クモ膜下硬膜外併用麻酔症例 3 外科 2 脊髄クモ膜下硬膜外併用麻酔症例 1 整形外科 1 翻形外科 1 翻形形体 1 翻形外科 1 翻形形体 1 翻形 1 | 全身麻酔症例 | |
| 口腔外科 24 脳外科 60 泌尿器科 49 耳鼻咽喉科 19 内分泌科 6 静脈麻酔症例 後尿器科 泌尿器科 4 移植夕モ膜下麻酔症例 51 形成外科 1 整形外科 1 整形外科 1 使膜外麻酔症例 1 極寒水外科 1 佐達麻酔症例 1 形成外科 1 整形外科 1 | 外科 | 209 |
| 脳外科 60 泌尿器科 16 形成外科 49 内分泌科 6 静脈麻酔症例 泌尿器科 4 脊髓クモ膜下麻酔症例 51 形成外科 1 整形外科 13 外科 2 脊髓クモ膜下硬膜外併用麻酔症例 外科 1 整形外科 1 優膜外麻酔症例 1 医定麻酔症例 1 形成外科 1 整形外科 1 | 整形外科 | 187 |
| 泌尿器科 16 形成外科 19 内分泌科 6 静脈麻酔症例 4 泌尿器科 4 形成外科 1 整形外科 13 外科 2 脊髓クモ膜下硬膜外併用麻酔症例 1 外科 1 整形外科 1 破膜外麻酔症例 1 整形外科 1 伝達麻酔症例 1 形成外科 1 整形外科 1 | 口腔外科 | 24 |
| 形成外科 19 耳鼻咽喉科 19 内分泌科 6 静脈麻酔症例 泌尿器科 4 脊髄クモ膜下麻酔症例 泌尿器科 51 形成外科 13 外科 2 脊髄クモ膜下硬膜外併用麻酔症例 外科 2 脊髄クモ膜下硬膜外併用麻酔症例 外科 1 整形外科 1 整形外科 1 を変形外科 1 を変形外科 1 を変形が科 1 | 脳外科 | 60 |
| 耳鼻咽喉科19内分泌科6静脈麻酔症例4管髄クモ膜下麻酔症例51形成外科13整形外科13外科2脊髄クモ膜下硬膜外併用麻酔症例1外科1整形外科1硬膜外麻酔症例1医形外科1伝達麻酔症例1形成外科1医形外科1医球外科1医球外科1医球外科1医球外科1医球外科1 | 泌尿器科 | 16 |
| 内分泌科6静脈麻酔症例4珍様クモ膜下麻酔症例51形成外科1整形外科13外科2脊髄クモ膜下硬膜外併用麻酔症例1外科1整形外科1極膜外麻酔症例1極膜外麻酔症例1医形外科1伝達麻酔症例1形成外科1整形外科1医形外科1医形外科1医形外科1整形外科1 | 形成外科 | 49 |
| 静脈麻酔症例泌尿器科4脊髄クモ膜下麻酔症例51形成外科1整形外科13外科2脊髄クモ膜下硬膜外併用麻酔症例1整形外科1整形外科1極膜外麻酔症例1を形外科1伝達麻酔症例1形成外科1整形外科1整形外科1整形外科1 | 耳鼻咽喉科 | 19 |
| 泌尿器科4脊髄クモ膜下麻酔症例51形成外科1整形外科13外科2脊髄クモ膜下硬膜外併用麻酔症例1外科1整形外科1硬膜外麻酔症例1医形外科1伝達麻酔症例1形成外科1整形外科1転形外科1整形外科1整形外科1 | 内分泌科 | 6 |
| 脊髄クモ膜下麻酔症例泌尿器科51形成外科1整形外科2脊髄クモ膜下硬膜外併用麻酔症例外科1整形外科1硬膜外麻酔症例整形外科1伝達麻酔症例1形成外科1整形外科1密形外科1 | 静脈麻酔症例 | |
| 泌尿器科51形成外科1整形外科2脊髄クモ膜下硬膜外併用麻酔症例1整形外科1整形外科1 硬膜外麻酔症例 1医形外科1伝達麻酔症例1形成外科1整形外科1整形外科1 | 泌尿器科 | 4 |
| 形成外科 1 整形外科 2 脊髄クモ膜下硬膜外併用麻酔症例 1 外科 1 整形外科 1 硬膜外麻酔症例 1 を形外科 1 伝達麻酔症例 1 形成外科 1 整形外科 1 整形外科 1 整形外科 1 整形外科 1 | 脊髄 クモ膜下麻酔症例 | |
| 整形外科13外科2脊髄クモ膜下硬膜外併用麻酔症例1整形外科1硬膜外麻酔症例1整形外科1伝達麻酔症例1形成外科1整形外科1整形外科1整形外科1 | 泌尿器科 | 51 |
| 外科2脊髄クモ膜下硬膜外併用麻酔症例1外科1硬膜外麻酔症例1整形外科1伝達麻酔症例1形成外科1整形外科1整形外科1 | 形成外科 | 1 |
| 脊髄クモ膜下硬膜外併用麻酔症例外科1整形外科1 硬膜外麻酔症例 1整形外科1 伝達麻酔症例 1形成外科1整形外科1 | 整形外科 | 13 |
| 外科 1 整形外科 1 硬膜外麻酔症例 1 伝達麻酔症例 1 形成外科 1 整形外科 1 整形外科 1 | 外科 | 2 |
| 外科 1 整形外科 1 硬膜外麻酔症例 1 伝達麻酔症例 1 形成外科 1 整形外科 1 整形外科 1 | 脊髄クチ膜下硬膜外併用麻酔症例 | |
| 硬膜外麻酔症例 整形外科 1 伝達麻酔症例 1 形成外科 1 整形外科 1 | 外科 | 1 |
| 整形外科1 伝達麻酔症例 1形成外科1整形外科1 | 整形外科 | 1 |
| 整形外科1 伝達麻酔症例 1形成外科1整形外科1 | 硬膜外麻酔症例 | |
| 伝達麻酔症例1形成外科1整形外科1 | 整形外科 | 1 |
| 形成外科 1 整形外科 1 | | |
| 整形外科 1 | | 1 |
| | | 1 |
| | | 646 |

14. 放射線科

当科では、主にCT、MRI、乳房撮影、胃透視、注腸、点滴静注腎盂尿路造影、その他依頼された一般撮影の画像診断を行っております。

CT, MRIの読影率は、90%以上で画像診断管理加算1を算定しています。 尚、平成23年にPACS(画像保存通信システム)が導入され、一部の検査 を除きモニタ診断を行っております。

※撮影件数は、画像診断センターページに掲載しております。

【導入装置】





PACS (テクマトリックス社製) 平成23年8月設置